

谷戸公民館

ビギナーズ現代学  
出会う風景・紛争地の人々

オリブの樹々に春が訪れようとする中も、世界では紛争が絶えません。同じ今を生きる紛争地の人々の姿を、気鋭の写真家による最新の写真レポートで学びます。



世界の現在への眼差しを、一緒に深めましょう。  
 ▼とき別表のとおり  
 土曜日 14時～16時  
 ▼ところ＝谷戸公民館  
 ▼対象＝市内在住・在勤・在学者  
 ▼定員＝20人(申込順)  
 ▼講師＝高橋美香(写真家)  
 ▼申込＝2月5日(金)10時から電話で谷戸公民館へ

回	月日	内容
1	2/13	パレスチナに生きる人々①
2	2/27	パレスチナに生きる人々②

谷戸公民館

文学講座  
教科書文学再生計画

—2010年代を生きぬくための—

教科書で読んだ日本文学の名作をもつ一度味わってみませんか。作品や作家について学び、そこから現代を生きる私たちの「生き方」について考えたいと思います。  
 ▼とき別表のとおり 木曜日 14時～16時  
 ▼ところ＝谷戸公民館  
 ▼対象＝市内在住・在勤・在学者  
 ▼定員＝30人  
 ▼講師＝助川幸逸郎(横浜市立大学講師)  
 ▼申込＝往復はがきで2月8日

(月)消印有効。応募多数の場合は2月10日(水)16時から公民館事務室前にて公開抽選とします  
 往復はがき書き方  
 往信面の裏面に①文学講座②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤電話番号 返信面は申込人の郵便番号、住所、氏名敬称記入、裏面は白紙。はがきのあて先は〒188-0001西東京市谷戸町1-17-2 谷戸公民館

回	月日	内容
1	2/18	充たされない日本の私～『羅生門』と『こころ』と『舞姫』の頼りない主人公たち～
2	2/25	袁さんは李徴の友達だったのか?～現代学生のコミュニケーションツールと『山月記』～
3	3/4	“大衆”にうけた谷崎源氏・“エリート”しか読まなかった与謝野源氏～近代日本の女性文化と『源氏物語』～
4	3/11	少女漫画? 歌詞? ブログ?～元祖サブカルチャー作家としての太宰治～
5	3/18	教科書に載っている司馬遼太郎・教科書に載らない松本清張～21世紀における「物語」のゆくえ～

田無公民館

自然を使って楽しむ  
～青年向け環境講座～

アメリカンディヤンの御守り作りや、地すべり面の粘土から作ったパステルの使用など、身近なものをしながら、自然環境との関わりを楽しく学びます。

▼とき別表のとおり  
 日曜日 14時～16時  
 ▼ところ＝田無公民館  
 ▼対象＝市内在住・在勤・在学の方(高校生以上)  
 ▼定員＝15人(応募者多数の場合は抽選)  
 ▼申込＝2月8日(月)17時までに電話またはメールで田無公民館へ

【メールでの申込方法】  
 ①送信先メールアドレス Kouninkan@city.nishito.kyotog.jp  
 ②件名「田無公民館 講座 申込」  
 ③本文「氏名・住所(または在勤・在学先)・電話番号・年齢」を明記してください。  
 ※こちらからの確認メールが届いた時点で申込が完了します。確認メールが届かない場合は、お手数ですが、お問い合わせください。

回	月日	内容	講師
1	2/14	土のパステル 'ドバス' を使って	渥美圭子(国土防災技術株式会社・日本パステルホープアート協会インストラクター)
2	2/21	'ドリームキャッチャー' を作る	浅葉和子(浅葉和子デザイン教室主宰・金沢文庫芸術祭プロデューサー)
3	3/7	セルフクエスト&振り返り	担当職員

※全回参加できる方を優先いたします

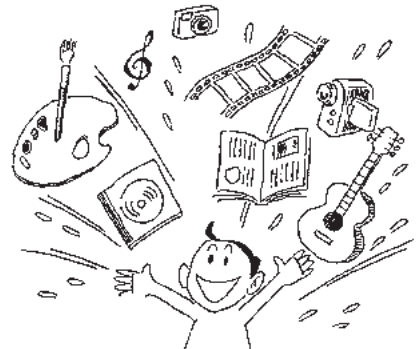


保谷駅前公民館

黙って使用して  
著作権に触れませんか?  
著作権入門講座

サークル活動や自治会、文化祭などの行事に使用するために雑誌や楽譜をコピーし、CDをダビングして気軽に使っていますか。多くの場合、作者の著作権が保護されています。トラブルにならないように基礎的なことを学びましょう。

▼とき別表のとおり  
 18時30分～20時30分  
 ▼ところ＝保谷駅前公民館  
 ▼対象＝市内在住・在勤・在学者  
 ▼定員＝20人(申込順)  
 ▼講師＝大和淳(東京農工大学総務部長)



▼申込＝2月3日(水)10時から電話で保谷駅前公民館へ

公民館世代を超えた出会いの場  
 ちなみに、公民館だよりを開いてみよう。学習講座や趣味、イベントなどとたくさんのお出合いの場が紹介されていることでしょうか。そんな有意義で楽しい活動の場を通して生まれた絆を広げることができたら、公民館が新しい故郷づくりの拠点となることも夢ではないかも！  
 若い人たちが西東京を、大人になる通過地点としてではなく「自分のふるさと」と思ってもらってほしいです。  
 そんな公民館活動を支え、魅力あるものにするには、職員だけでなく市民一人ひとりの知恵やアイデア、行動する気持ちは不可欠だと思います。そこで：  
 育てたり育てられたり公民館  
 長い時をかけて培ってきた知恵や知識、技術がいっぱいつまっている中高年の皆さん(私もその一人ですが)、自分たちのためにも、若い人たちのためにも「故郷は西東京だ」といえるような所にするためにちよっとだけ受け身の活動から積極的な活動に変身してみませんか。夢と希望を持って公活(公民館活動)しましょう！

予告「子どもいろいろ 体験教室」  
 光の万華鏡  
 ガムテープの芯とセロハンなどを使用した万華鏡を作ります。自由な色の組み合わせで光を通したときの模様を楽しめます。  
 ▼とき＝3月13日(土) 10時～12時30分  
 ▼ところ＝保谷駅前公民館  
 ▼対象＝市内在住の小学校一年生～三年生  
 詳しくは、来月号をご覧ください。

公民館に集いの場であり、友達を作る場です。(谷戸公民館利用者)